

四国愛友会会報

第104号

平成10年10月



目次

NTTの動き	2
再編成に向けて	2
9年度の通信量	2
9年度サービス別収支と事業部収支	2
基本料金を通話料金の計算期間に統一	2
インターネットタウンページ	2
06地域・市内局番4桁化のお知らせ	3
徳島TA・市内局番3桁化のお知らせ	3
災害用伝言ダイヤル「171」を運用	3
パソコンで104	3
お知らせ	4
19回理事会・9回評議員会を開催(本部)	4
平成10年春の叙勲受章者	4
電信電話工事協会賞を受賞	4
新会員名簿の発行にあたって	4
ボランティア活動賞候補について	4
電友会のガン保険について	4
本棚(近著の紹介)	4
年金情報	5
健康のページ(アルコールと肝臓病)	6
人生さまざま・後半生を生きる	7
私は今	8
テルウェルだより	12
初心者パソコン教室を開催(愛媛)	12
第3回OB余技作品展を開催(徳島)	12
男の料理教室を開催(愛媛)	13
第2回園芸教室を開催(香川)	13
ボランティアNTT土佐清水OB会発足	13
サークルだより	14
俳句・川柳(香川)	15
敬弔・物故者叙位叙勲	15
表紙の言葉	15

NTTの動き

再編成に向けて

平成11年1月には、西日本会社移行本部が設置されますので、四国支社も3ヵ月後には廃止されます。このNTTの再編成に合わせて、全電通やテルウェルでも改革・再編計画が進められています。

いよいよ四国から、四国の文字が消えることとなります。

9年度の通信量

6月30日、平成9年度電気通信役務通信量等状況が公表されました。

これは、加入電話、公衆電話、ISDN等のサービスごとの利用状況(通信回数、通信量等)をとりまとめたものです。(昔で言えば、サービスごとのトラヒック量とでもいうことになるでしょう)

加入電話のダイヤル通話については、通信回数が737億回で、前年度に比べ7.8%減少し、通信量も32億時間で、5.8%減少しています。距離段階別にみても、全ての区間で、通信回数、通信量はともに減少しています。同様に、収入は、1兆8千244億円で、前年度に比べ11.9%減少しています。また、通信時間別に見ますと、1分以内に完了する通信が58.4%、2分以内で75.9%、3分以内では83.4%となっています。

なお、平均通信時間は、事務用が100秒(前年度102秒)、住宅用が231秒(同224秒)、事務住宅総合では158秒(同155秒)となっています。

詳しい内容については、NTT情報ステーション及びNTT各支社の相互接続推進室において閲覧可能とのことです。

9年度サービス別収支と事業部収支

6月30日、平成9年度決算に基づくサービス別収支と事業部収支が公表されました。

今回公表されたのは、電話・電信・電報等の各役務の収支を示す「役務別損益明細表」電話サービスについて基本料・市内通話・市外通話等の収支を明らかにする「電話役務損益明細表」、11の地域事業部(支社)と4つの事業部それぞれの収支を示す「事業部収支」等です。

▽サービス別収支の状況

電話、専用では、営業利益がそれぞれ4千199億円(前年度比で712億円減少)、562億円(同184億円増加)となっていますが、電報、総合デジタル通信(ISDN)などで赤字となっており、全体で営業利益は4千35億円(同605億円減少)となっています。

▽電話サービス収支の状況

加入電話では、ISDNへの移行などによる加入数減の影響や料金値下げ(平成9年2月と平成10年2月に実施)等により減収となり、営業利益は5千164億円(前年度比で1千16億円減少)で、その内訳の基本料・市内通話・市外通話は、いずれも前年度を下回っています。

なお、公衆電話、番号案内は、それぞれ営業損失309億円、712億円となっていますが、番号案内は、前年度より242億円の大幅な収支改善となっています。

▽事業部収支の状況

地域事業部では、加入数減やアクセスチャ

ージ(相互接続料)の単金減等の影響はあったものの、高速デジタル専用やISDNといったマルチメディア系サービスの収入増により、経常利益は1千851億円(前年度比で488億円増加)となっています。

また、昨年同様、東京、関東、東海、関西以外の7地域事業部では、赤字となっています。(四国は、前年度より36億円改善されたが、267億円の赤字)

一方、長距離事業部は、料金値下げや景気停滞の影響等で大幅減収となり、経常利益は2千71億円(同408億円減少)となっています。

基本料金を通話料金の計算期間に統一

電話料金の基本料金(毎月定額の回線使用料、屋内配線使用料、付加機能使用料等)と通話料金の計算期間を統一することとし、10月請求分から実施することになりました。

これは、基本料金が暦月で、通話料金が異なる6つの計算期間を単位とした群に分かれていることから、「わかりにくい」といったお客様の意見等に応えるためのもので、基本料金を、通話料金の計算期間単位に統一して(重ねて)請求することにしたものです。

この方式の実施に当たり、先取りとなった形の基本料金は、10月、11月請求分で清算されることになっています。(昔の月分論争を思い出します)

インターネットタウンページ

先月号でもお知らせしましたが、8月1日から「インターネットタウンページ」のシステムが拡張されて、インターネット上でより快適に、電話番号の検索ができるようになり

ました。

「インターネットタウンページ」は、今年4月に収録エリアの全国展開を完了し、「タウンページ（職業別電話帳）」に掲載されている約1千100万件の各種店舗等の電話番号情報等を、インターネット上で、無料で検索できるサービスです。

この度、サービス開始以来、増加し続けるアクセス数に対応するため、システムを拡張するとともに、高速・大容量コンテンツの効率的な配信を可能とするマルチフィード環境に、ミラーサーバを設置しました。

これにより、利用者からのアクセスにスムーズに対応し、より快適な「インターネットタウンページ」の利用が可能となりました。
「http://townpage.isp.ntt.co.jp/」を、覗いて見てください。

06地域・市内局番4桁化のお知らせ

平成11年1月1日の午前2時から、大阪・兵庫06地域の市内局番が、アタマに6がついた4桁に変わります。

なお、9月28日から、4△△△□□□□が既に使用されており、この番号については変わりありませんので、ご注意ください。

徳島TA・市内局番3桁化のお知らせ

平成11年2月11日の午前1時から、市外局番0886地域（徳島市、鳴門市、板野郡、名西郡、名東郡）の市内局番が、アタマに6がついた3桁に変わります。ご注意ください。

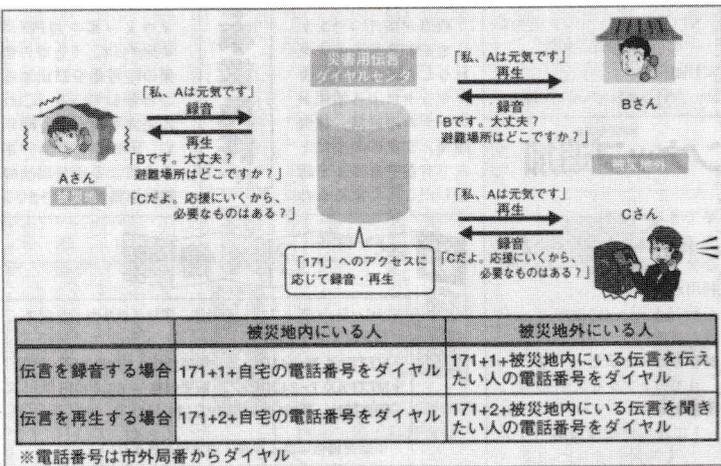
災害用伝言ダイヤル「171」を運用

9月25日、高知県を中心とした集中豪雨に

より、高知県方面への電話がつながりにくい状態が続いたため、四国支社は、避難者との連絡にご利用頂けるようにと、「災害用伝言ダイヤルサービス」の運用を、午前10時から開始しました。

これは、栃木県・福島県の集中豪雨（8月27日）、岩手県内陸部で起きた地震（9月3日）に次ぐ、全国で3番目の「171」の運用となり、28日までに、約2万2千件の利用がありました。

▽災害用伝言ダイヤル利用方法（例）



今回は、高知県下全域が、災害によりかか

りにくくなっている地域の電話として、災害用伝言ダイヤルに登録できる被災者の電話番号となりましたが、10月1日の午後5時をもって録音を終了した後、3日の午後5時には伝言の再生も終了し、「171」の運用は全て終わりました。

10月1日の午後3時現在で、録音は約1万件、再生は1万2千700件という記録が残っています。災害時の声の伝言板ともいえる「171」を、覚えておいて下さい。

なお、今回の集中豪雨による電気通信設備の被害件数は5千800件で、TE本社など県外からの応援を含めた約350名体制で復旧工事が進められ、9月末までに5千730件について修復を終えております。

▽会報102号（平成10年4月発行）にも、災害用伝言ダイヤルの記事がありますので、重複する部分は、省かせて頂きました。

パソコンで104

全国の50音別電話帳が、何時でも、何処でも知りたいときにご利用できます。

ご利用手順は、①番号情報センタ（0190-1104104）を呼び出します。②お調べになりたい電話などの種類を選択します。個人、企業、地域検索、フリーダイヤル、市外局番からお選び下さい。③姓名、企業名等と住所を入力します。④お調べの電話番号が表示されます。といった具合になります。

NTTでは、「ANGEL SOFT（無料）」を、ダウンロードにより提供しています。

昼間・夜間の通信料金は、3分10円に1検素当たり15円が加算されます。お問い合わせは、0120-1104260へ。

お知らせ

電友会本部

19回理事会・9回評議員会を開催

7月10日、第19回理事会が銀座ラフィナー
ト(旧京橋会館)で開催され、西本本部長が
出席しました。理事会の主な議題は、①9回
評議員会議題について、②10回常任理事会議
事結果より、③20回理事会の開催及び10年度
ボランティア活動賞等について等々でした。
同日開催された第9回評議員会には、西本
本部長の他に、愛媛から穴吹、日高、香川か
ら黒田の3評議員が出席して、①9年度事業
報告、②9年度収支計算書、③10年度事業計
画(案)、④10年度収支予算(案)、⑤電友
会再編委員会設置、⑥役員選任等々を審議し
これらを承認しました。本部では、山内会長
が退任され、新会長に小川晃氏(前副会長)
が選任されております。

平成10年春の叙勲受章者
勲六等瑞宝章 亀井 重夫様(松山市)

電信電話工事協会賞を受賞

去る6月、中井正明様(松山市)に対し、
(社)電信電話工事協会(岩崎昇三会長)から、
第18回電信電話工事協会賞が贈られました。

豪雨災害へのお見舞い

9月24日・25日の集中豪雨により被災
された高知県の皆様には、心から豪雨禍
を、お見舞い申し上げます。

新会員名簿の発行にあたって

郵便番号7桁化への対応等を考え、今回の
名簿作成にあたっては、会員名簿のデータベ
ース化が課題でしたが、愛媛電友会の山岡都
夫氏と藤田道夫氏のお力添えにより、デー
タベース化を終え、名簿や索引を作成するた
めのプログラムも山岡氏に考案して頂いて、新
会員名簿(B5版)を発行する運びとなりま
した。

西氏の労作が、会員相互の連携強化に役立
てば幸いです。表紙は、山岡氏がデザインし
たものを使っています。

ボランティア活動賞候補について

当会では、毎年、地道にボランティア活動
に汗しておられる方々を顕彰し、「電友会ボ
ランティア活動賞」を贈ることにしております
が、今年も8月に、2名の方(内1名は団
体の代表)を、ボランティア活動賞候補とし
て、本部へ推薦しました。

既に、表彰が決定しておりますが、詳細は
次号でお知らせしますので、ご期待下さい。

電友会のガン保険について

これまで電友会専用の保険としては、①団
体傷害保険、②生命・傷害セット保険、の二
つをご紹介してきましたが、今後は、③ス
ーパーがん保険Ⅱ型、を加えて、三つの保険を
ご紹介することになります。

今回追加したこのガン保険は、アメリカン
ファミリー生命保険会社のガン保険で、互恵
サービス(株)(N.T.T関係の総合代理店)を窓
口として、皆様にお勧めすることになりまし
た。同封の資料を参考にされて、スーパーが
ん保険Ⅱ型を、皆様方の選択肢の一つに加え

て頂けたらと考えます。

なお、既に加入されている方もありますの
で、その方については、資料を省かせて頂き
ました。宜しくお願い致します。

☆互恵サービス(株)からの資料をお届けする関
係で、宛て名等のデータを、今回、同社に通
知しましたが、このデータが他の用途に使わ
れることはありませんので、ご了承下さい。

本棚

近著の紹介

穴吹 義教(重信町)

岡田恂三さんから寄贈された「思草」を、
一気に読ませて頂いた。五十篇に近い珠玉の
随筆集で、勿論、自费出版。N.T.T在職中に
書いた数篇を除き、退職後に手がけられたも
の、折々に気付いた事柄が淡々と記められて
いる。あるときは紀行、あるときは身辺雑記
と、一年に数篇ずつ四〇五枚の原稿用紙を埋
めたもの、往年の岡田さんの着実な仕事振
りが思い出される。いままも神官として活躍さ
れており、余生を送る暇人ではなさそうだが、
多忙なスケジュールの合間に、奥さん同伴の
旅を楽しまれていたのか。二十篇程の丹念な
紀行文がそれを物語っている。流石に「もの
書き」を自認されるだけあって、筆運びが流
暢である。書名の「思草」は、同名の一篇か
ら選んだものらしいが、万葉短歌の造詣の深
さを垣間見させてくれる。「残された人生に
意味を持ちたい」という一念からの起稿であ
るが、一冊に上梓された情熱には、心から敬
意を表したい。更なるご健筆を期待すること
切なり。

年金情報

年金審議会の動き

平成11年の公的年金制度改定について検討している年金審議会(厚相の諮問機関)の意見書原案が、9月19日、明らかになりました。既に新聞等でご承知の方もあるかと思いますが、ライフプランへの影響も大きいと考えますので、その要旨等をご紹介します。

◆年金審議会意見書原案要旨

公的年金を支えてきた人口や経済の基盤は大きく変化した。月収の30%以内に収まると予定されていた最終保険料率は大きく上昇が見込まれる。今後、急増が予測される給付総額について、伸びを将来に向かって抑制していくことが避けられない。給付額抑制とは、増大する給付の伸びを抑えようとするものであって、現在受給している年金額を引き下げるものではない。

〈税方式への転換〉

基礎年金の国庫負担率の引き上げについては、将来的には現行3分1から2分1に引き上げるべきだという意見が強い。財源は目的間接税とすべきで、一般財源による引き上げは行うべきではないという意見がある。

現在の財政や経済の状況の下では、次期制度改正において国庫負担率の引き上げを行うことは、現実的に極めて困難。次期制度改正後の検討課題として、引き続き検討する必要がある。

〈給付水準〉

厚生年金の保険料率は、前回改正の前提であった労使合わせて月収の30%程度という意見、経済環境を踏まえれば、労使合わせて年

収の20%程度(月収の26%程度に相当)にすべきだとの意見が大勢であったが、労使合わせて月収の20%以内という意見もあった。

現在、受給している年金額又は受給できるはずの年金額を、物価スライドを含めて保障する措置が前提となる。

年金額の実質価値を維持するため、物価スライドを行うことは必要不可欠であるが、将来の保険料負担上昇を抑える必要があること、高齢になるほど生活費が減少している実態を踏まえると、賃金再評価や政策改定を当分の間行わないようにすることは、やむを得ないと考える。物価スライド及び賃金スライドは維持すべきであるとの意見があった。

〈支給開始年齢〉

60歳から65歳の間を支給される特別支給の老齢厚生年金のうち、定額部分については平成13年から段階的に支給開始年齢を引き上げることとしたが、報酬比例部分については引き続き60歳から支給される。十分な準備期間を取った上で、段階的に支給開始年齢を65歳に引き上げるべきである。

〈保険料負担〉

将来の現役世代の増加等に対応し、負担軽減を図るため、段階的引き上げを行うべきである。現在の経済状況から据え置くべきだとの意見や、引き下げるべきであるとの意見があった。(毎日新聞より)

◆解説

年金審議会の意見書原案は、21世紀の年金行政を方向付けるものといっているが、少子高齢化により、現在の保険料負担(厚生年金の場合、月収の17・35%、労使折半)で、夫婦二人のモデル年金23万円の給付水準は維持できない。試算ではこの水準を維持しようと

すれば、平成37年には34・3%に上げざるを得ない。

年金審では、こうした厚生省の試算に、具体的はどう応えるかが問われていた。現在の受給者については年金額は確保されるが、意見書では、将来、段階的に給付総額を抑制することをうたっている。具体的にどれだけ抑制するのか、数字的な目標額は設定されていない。

また、保険料率についても、前回改定時には月収の30%以内までに抑えることが前提とされた。しかし、経済不況のあおりを受け、今回の意見書では、労使合わせて年収の20%程度(月収の26%程度に相当)にすべきであるという意見が大勢だった。いずれも断定的な表現は避けている。

年金審は意見書原案をもとに、9月21日、更に議論を詰める。「公的年金を基本にしつつ、自助努力を組み合わせ、私的年金制度の改善を図っていくべきだ」としているが、高齢者世帯の半数が、公的年金だけで生活をしている。厚生省は意見書原案をたたき台にして、将来の高齢化社会を見据え、年金世代、更に高齢者を支える現役世代のライフプランが描けるよう、具体的に肉付けすることが必要だ。(毎日新聞より)

平成6年には、物価スライドによる1・3%を含めて、5・5%前後、年金額が引き上げられました。このため、平成11年には、少なくとも数%の引き上げを期待していたのですが、どうやら賃金スライド(賃金等の再評価額に合わせて上がる)による年金額の改定は、行われない公算が大といった状況にあります。給付額抑制の名のもとに、年金額の引き下げが始まることとなります。(愛原)

健康のページ

アルコールと肝臓病

NTT松山病院第二内科部長
山本 博士



・はじめに

お酒を飲みすぎると肝臓が悪くなる。そのことはご存知とは思いますが、では何故お酒を飲みすぎると肝臓が悪くなるかを、ご存知でしょうか？お酒の飲み過ぎは、肝臓以外に關しても健康上良くないので、少しお話をしたいと思います。

・アルコール代謝と肝臓害

飲酒によって体内に入ったアルコールの90%以上は肝臓に運ばれ処理されます。アルコールは、アルコール脱水素酵素により、アセトアルデヒドから酢酸へと変換され、最後は水と炭酸ガスになります。このアセトアルデヒドは毒性があり、この中毒により肝臓害をきたす、というのが一つの説なのですが、詳細な機序については現在も不明のままです。アセトアルデヒドは毒性が強いのですが、すぐに酸化されてしまえば特に害にはなりません。しかし、大量に飲酒すれば、アセトアルデヒドも大量に作られてしまうことになり、その分解が追いつかなくなると、毒性が全身に及ぶのです。

先ほど肝臓害の詳細な機序は不明であると申しましたが、このアセトアルデヒドの中毒説以外にも、脂質過酸化説、酸素欠乏説など

もありません。又当然のことながら大酒家の全てに肝臓害が発生するわけではなく、その発現には、遺伝的要素や体質的素因も関与している、ともいわれています。

・アルコールと肝臓病

アルコールによる肝臓病とは、アルコール性肝臓害と呼ばれ、長年にわたる過剰の飲酒が原因と考えられる肝疾患をいい、原則的には、禁酒さえすれば症状は速やかに改善します。アルコール性肝臓害にはいくつかの病型があります。①アルコール性脂肪肝、②アルコール性肝線維症、③アルコール性肝炎、④慢性肝炎、⑤アルコール性肝硬変、⑥肝臓癌などです。「いっき飲み」による急性アルコール中毒とか、いわゆる「アル中」と言われるアルコール依存症は含まれません。

各病型の中では、②アルコール性肝線維症が一番多いとされています。治療の原則は何といっても断酒ですが、各病型により、断酒以外に日常生活上の注意などに多少異なる点があります。正確な診断のためには、肝性検査が必要となります。

・お酒の上手な飲み方

人によっても大分異なるのですが、一般的に肝臓にとって無難なお酒の飲み方についてお話ししたいと思います。

先ず一日のアルコール量は60g以内にして下さい。これはビールで言うと大瓶3本弱、日本酒ですと3合弱に当たります。但しこれは男性の場合であり、女性ですとその3分の1、アルコール量にして20g以内と考えて下さい。一般的に成人男性が1時間に代謝できるアルコールの量は、体重1kg当たり0.1gと言われています。即ち、体重70kgの男性が1時間に処理できるアルコール量は7g、

8時間の睡眠時間をとるとすると、一晩で処理できるのは56gということになり、それ以上飲酒すれば翌日に残る、即ち二日酔いの状態となるわけです。そして、毎日飲まないこと、できれば2日続けては飲まないこと。

毎日晩酌をしている人は、せめて週に2日は休肝日を作ってください。以上がアルコールの上手な飲み方なのですが、更に付け加えるならば、空腹では飲まない、できるだけゆっくりに時間をかけて飲む、濃度の高いものは薄めて飲む、チャンポンやはしご酒や深酒は避ける、二日酔いするとき強い酒はしない、などです。

以上のことに注意しながらアルコールと上手に付き合うことができれば、肝臓も心配することは少ないでしょう。アルコールは上手に飲めば、体にとっても有用な飲み物ですが、間違った飲み方をすると肝臓も含めて体に不健康をもたらすことになるでしょう。最後に、健康診断などで肝機能障害と指摘され、その原因がアルコールの飲み過ぎとされている方々へ。

自分一人での思い込みは危険です。最近のデータで、従来アルコール性肝機能障害と言われてきた人の中には、多くのビールス性肝炎(C型肝炎)が含まれていることが報告されています。アルコールだけが原因ではないかも知れません。

一度、病院で受診し、調べてもらっては如何でしょうか。



ドキュメント

人生さまざま・後半生を生きる

社会保険労務士になって活躍

1年程前のある日曜日に、徳島市の南部に位置するある街の繊維卸団地で、毎日曜日に開かれている通称「びっくり日曜日」に出かけた。

衣類はもちろん新鮮な野菜や果物を始め、食料品のほか、骨重品などの店が並び、大変なにぎわいを見せていた。

広々とした会場の中央に、テント張りの本部があって、「年金相談」と書いたカンバン脇の机で、客人と対話している1人の男性が目にとまった。

よく見ると、その昔、同じ職場で苦楽を共にしたTさんであった。

対応の終わるのを待って、偶然の出会いに時の経つのも忘れて話し合った。

「今、社会保険労務士の資格を取って、その道の仕事をしています。今日はボランティアで、年金相談所を開設しているんですよ」とのこと。私は、「よく頑張りましたね。ご活躍を祈ります」と言って別れた。

過日、電話で本稿の趣旨など説明すると、「毎月、第二日曜日の午前10時から午後2時まで、『びっくり日曜日』の本部におりますから」と快諾を得た。

早速、Tさんを訪ね、昼過ぎまで年金相談の様子を見聞した。

Tさんは、昭和63年3月に56歳でN.T.Tを退職し、翌月から某保険会社に入社。主に交通事故に伴う保険金の支払い業務を担当して

いたが、約2年で退社した。

その後、保険会社の業務を通じて知り合った方の紹介で、(財)全国自治協会に入社し、前とよく似た仕事を担当した。

仕事が仕事だけに、広く深い専門知識の必要性を痛感して、社会保険労務士の資格を得ようとした。

独学で受験に挑戦していたが、3回不合格に終わった。ある時、受験会場で知り合った人から、「徳島市で受験セミナーが開かれる。受講してみようか」と勧められ、4回目の受験に備え、働きながら受験セミナーを受講。努力が実り合格した。年は62歳であった。

社会保険労務士の試験は、年1回きりだが、合格率は、受験者の7%程度。狭き門だそうである。Tさんの不屈の努力には、頭の下がる思いがした。

(財)全国自治協会は、約3年勤めて辞めた。その直後に、ある人の紹介で、テルウェル徳島営業所に入って、看視員として勤めていた

が、「少しでも社会のため、人のために尽くしたい」との一念から、テルウェル徳島営業所を2年で退所し、社会保険労務士の業務に専念することにした。

徳島県社会保険労務士会に所属して、中小企業の会社との契約により、会社の総務課が担当する社会保険料等の事務処理のほか、労務管理全般に関する相談や指導などに当たっている。

また、金融機関との契約で、契約機関に出向き、窓口などで年金相談や金融相談に応じている。

年金相談は、即生活相談であることから、お金に係わる全般的な相談を受ける資格として、PP(ファイナンシャル・プランナー)と

いった資格も、難関を突破して身に付けていた。

金融機関の窓口で相談を受けるには、社会保険労務士とPPのダブルライセンスを持っていないと、お客の相談に応ずることはできないとのこと。

傍にいた間に、Tさんは3人目の相談に移っていた。

この人は70歳位の男性であったが、「戦時中に徴用工として軍隊に同行し、約3年間、軍用機器の修理に従事したが、この期間は、年金給付対象とならないのか?」とか、「それを証明する書類などはないのか?」といった、とにかく軍隊と共に現地へ派遣されたという、記憶だけが頼りの相談であった。

「戦後はまだ終わっていない」そんな実感を受けた。

「明日は、私が受講した、社会保険労務士受験生(約20名)対象のセミナーが開かれ、年金関係の講義を受け持っています。この仕事は、一生懸命勉強です」と語る顔には、69歳とは思えぬ活力が満ち溢れていた。

(安芸編集委員 記)

(11ページより)

釣りも農業も天候が第一で、今年のような大雨や猛暑には困ります。部時代の先輩友人達とも疎遠になりがちですので、記念日には出席し、旧交を温めたいと思っています。

▽次の方の原稿は、次号とさせて頂きます。

- 大森 薫様、岡部 公敏様、越智 宗一様
- 河井 宏益様、菊池佳喜美様、清水 義則様
- 白石 孝一様、田原 弘子様、檜垣 英明様
- 石田 幸男様、大西 清晴様、大庭 敏朗様

私は今

◇ 井伊 民子 (宇和島市)

早いもので、退職して10年になりました。義母の在宅介護も4年目に入り、毎日、主人と交替で頑張っています。

また、合間には、庭で少しですが花作りを楽しみ、遊びに来る孫の相手をしてストレスを解消しています。週1回のスイミング通いは、健康のために、今後もできるだけ続けて行きたいと思っています。

◇ 石田 有年 (西条市)

退職して12年になります。お蔭様で健康に恵まれ、孫と遊んでおります。

11年間四国通建で、後1年は今治TEで、皆様には大変お世話になりました。今は好きなゴルフを月に4、5回楽しんでおり、電友会や電電記念日の会で、皆様にお会い出来る日を楽しみにしております。

◇ 宇賀 久 (高知市)

平成8年に退職し、現在、テルウエル高知で、NTT-OBセンタを担当しています。

最近、高知OBサロンにインターネットのサークルが誕生し、毎日、数人の方が来られて、ホームページを見たり、メールをやりとりされるのをお手伝いしながら、一緒に楽しんでいきます。私のメールアドレスは、UKA@shikoku.telwel.or.jpです。メールをお待ちしています。

◇ 上田 伸子 (高知市)

退職後4年。この間、父の看病をしてきま

したが、今年の4月、98歳で見送りました。

一抹の寂しさと気疲れとで、しばらくは何も出来ませんでした。今は、趣味で始めた着物の着付けによって、色々な人との出会いがあったり、また、手書き染色では、自分のオリジナルな絵を、Tシャツ等に書いて楽しんでおります。

今まで行けなかった念願の長期旅行のために、近所の人達とウォーキングで、近くの山を歩きながら体力作りにも励んでいます。

◇ 上松 義輝 (高松市)

第二の職場(建設会社・営業)を退職して早5年半、光陰矢の如し。高齢者手帳を頂くようになりました。

毎日の日課として、自然を満喫しながら、妻と二人で5千歩を歩いています。お蔭で健康に恵まれ、元気で楽しく過ごしています。孫がカギツ子になるので、週2、3回、娘家へ応援に行き面倒をみます。また、年1、2回、妻と小旅行をしたり、家庭菜園を楽しんでいます。

◇ 内田 文雄 (松山市)

退職して3年と6ヶ月が過ぎました。

現在は、第二の職場、全日空ホテルで警備員として勤務しています。2年間、町内会役員を経験し、多忙な日々を過ごしておりますが、今年1月、B型肝炎に罹り、40日余り入院生活を送ってしまいました。3月から職場復帰しましたが、今も時々通院しながら仕事に励んでおります。

子供達も独立し、3人の孫に恵まれ、夫婦二人だけの生活です。皆様も健康に気を付けて、長生きしてください。

◇ 大西 治 (松前町)

退職当時、山には雉や野兔が沢山いたし、たまには、せせらぎで猪の母子が屯していたりして、長閑な風景であったように思う。

しかし、17年過ぎた今の山は、雉さえ滅多に目に留まらない。反面、狸や貂が繁殖し、小屋や囲障に悪戯をする。山も様変わりしている。

今、このような山で、烏骨鶏を少し飼っており、餌をやり、卵を取って帰るのが日課になっている。山のいい空気を吸って、毎日、元気で暮らしています。

◇ 岡田 正晴 (高松市)

「孔子は60にして耳に順う」と言われたとか、60を過ぎても、未だに夫婦二人きりの暮らしをしているせいか、その心境に60%も達していません。

さて、仕事は第二の職場(中央競馬高松場外)で、週4日間、技術屋として働いています。今日あるも皆様のお蔭と、感謝の気持ちを忘れません。元気が取り柄ですが、残された生涯の時間で、やり残した事が色々あって、胸騒ぐ毎日です。

1年前から女房の言葉に乗せられ、今では料理の献立を考えながら、買い物をして作っています。料理は奥が深くて難しいです。

◇ 越智 啓発 (松山市)

再就職先のテルウエルを退職して、2年が経ちました。退職直後は、「サンデー毎日」の生活にとまどいを感じておりましたが、ある団体の事務局の仕事をする傍ら、地域行事への参加、春秋の旅行、カルチャーセンタでの趣味の手習い、囲碁仲間とのザル碁等々、

色々やっていると内ライフスタイルが出来てきました。

これからは健康に留意して、「〇〇する楽しみ」の幅を少しずつ広げて行き、少なくとも「濡れ落ち葉」にはなりたくないものだと念じております。

◇ 刈谷 志津 (伊野町)

数多の懐かしいお顔を思い浮かべながら、ペンを取りました。退職して11年余り、年齢も60路の峠を越してしまいました。

過ぎて行く日々の速さを痛感しながら、平凡な主婦として家事や庭の木々、草花の手入れ、たまに預かる2歳の孫の世話等に明け暮れています。

先日は、久しぶりに愛媛県の大川嶺で吟句会をしました。これからも唯一の趣味、俳句に親しみ、楽しみたいと思っております。皆様のご健勝をお祈りします。

◇ 川田 紹子 (阿南市)

退職して4年余り過ぎました。在職中は、地域活動が留守になっておりましたので、その恩返しと社会勉強を兼ね、県や市の行事に参加して今の社会を学び、OB会のボランティア活動への参加、ボケ防止のための趣味等と、日々忙しく過ごしていますので、就寝前の明日行く場所と時間の確認が、ボケ防止の一つかもと笑っています。

これからも、子供等に出来る限り迷惑をかけるないように、自立して楽しく暮らしたいと思っております。

◇ 戒田 浩 (松山市)

9年余りお世話になった、第二の職場を退

いて半年になります。

朝夕の犬の散歩とウォーキング、家内のお供で特売目当てのスーパーマンに、最近は何所に住む孫の幼稚園の送迎役が加わりました。他に、簡単な住まいの補修や庭の手入れを任されており、結構、退屈せずに過ごしています。

近々、4人目の孫ができる予定で、今の内にと団体ツアーに夫婦で参加し、各地の旅も楽しんでいきます。

◇ 柏原 英夫 (善通寺市)

健康にやや自信がないので、老後は潤いのある庭木や草花をいじって、自己満足しています。

もともと血圧が高く、ヘルニアを患ってからは、歩くことが苦痛になり、もっぱら自転車に頼っています。そのせいか日焼けして、一見元氣そう。

しかし、身体の故障には勝てません。最近では、整形外科医についています。まだ若いのに、こんなことではと気力だけは盛んです。しばらく休養したらまた始動します。今後は程々にします。宜しく。

◇ 加地 克子 (川之江市)

私は金魚だったのではと思う様な、浮き浮きの体験をしました。今まで夏のプールでは、孫の見張り番のみでしたが、娘の紺の水着が家にあつたので、それを着て恐る恐るプールのパイプにつかまり、仰向けになると、ポカッと全身が水に浮きました。

太陽系の中で唯一の水のある惑星、地球の素晴らしさに感動し、水の中から生物が生まれ人間が現れたのなら、やっぱり私は水の中生

まれ、我が故郷は水中にありや？

◇ 勝田 邦明 (徳島市)

退職して6年が過ぎました。第二の職場では電報担当として、大きな病気もせず、元気で勤務しています。健康には十分注意し、毎年、一日人間ドックで医師の指導を受けながら、体調を整えています。

在職中に始めた手話の勉強は、勤務時間が交代制で不規則なため、週2回のサークルの勉強も休みがちとなって、中々上達しませんが、これからも体が動く限り手話通訳で、少しでも、聴覚障害者のお世話ができればと思う、今日この頃です。

◇ 菅 正義 (松山市)

2歳と6歳の孫2人の6人家族で、賑やかな毎日であります。季節ともなれば、野菜作りで体が二つ位欲しいです。トマト作りは長年取り組んできましたが、今年初めて収穫することができました。

昨年はポランティアで、一泊二日と二泊三日の2回、植林の下草刈りや枝打ちに参加させて頂きました。他に、時間を作って庭木の剪定、そして囲碁を楽しんでいます。

◇ 久保 克彰 (松山市)

NTT退職から10年程経ちました。今ではパーフェクトな有機菜園など望めませんが、農薬と上手に付き合って、孫達に好かれる美しい野菜作りをしたいと考えております。

演歌カラオケは、耳ばかり上達して、何だかいやな老人になったようです。それでも一曲を、100回以上歌って発表します。最近始めたポタニカルアートは、まだフリ

ーハンドの並行線書きですが、楽しく学習しています。

◇ 佐伯 進 (横浜市)

横浜市へ移住して二巡目の秋を迎えた。早く地域に溶け込みたい一心で、郷土史探訪、グランドゴルフ、ボランティア養成講座などに積極的に参加した。

他所者のただの年寄りに、直ぐ友達が出来る筈もないが、今はカメラ同好会に仲間入りして、季節の花を追っ掛けている。

孫に伊予弁がウツルと娘夫婦を苦笑させながら、育ち盛りの元気を貰って、家内は健康を取り戻し、二人で近隣の公園を、毎日のように散歩しています。

◇ 坂部 久 (徳島市)

退職して、第二の職場に勤めて11年になりますが、生まれてこの方、入院治療する程の病気に罹ったことがなく、健康だったことに感謝しています。

仕事の合間には、OBサロンで先輩から囲碁の指導を受けていますが、後輩が入らないので教えて貰うばかりです。また、家庭菜園を行っていますが、土質が悪いのか、技術が下手なのか上手にできません。

これからは、一日一日を大切に、充実した人生を送って行きたいと思っています。

◇ 田島 幸彦 (高知市)

5月連休の雨の日、道路で転倒し、救急車で運ばれ、頭を4針縫う羽目になりました。

1週間後抜糸。目が気になりましたので眼科で検査を受けた結果、視力が相当弱まっているとのこと、長年の持病の主治医(内科)に

相談して、目の手術を受けるため、現在は空きベット待ちの状態です。結局、五月晴れの一年で一番過ごし易い時期を、外科、眼科、内科、そして歯科と4科のお世話になり、自分の体は自分で守るといいう、健康管理の原点が身に沁みています。

◇ 高藤 満夫 (内子町)

早いもので退職後10年余りが過ぎました。今まで趣味を広げようと、尺八、横笛、三味線、大正琴など、自己流で色々やってきましたが、少し慣れると興味が薄れ、結局身についたものは、一つもありません。

現在は体調の関係もあって、好きなゴルフもやめ、午前中散歩、後はテレビや読書で日を送っております。これからも体調に注意しながら、時々やって来る孫達の成長を楽しみに、のんびり過ごせればと思っております。

◇ 立石 猛 (高知市)

お蔭様で、在職中に先輩や友人の勧めで始めた庭木や盆栽の世話で、退屈することもなく、古女房を相手に喧嘩しながら、毎日を楽しく元気に過ごしています。

しかしながら、体力の衰えはどうしようもなく、重い物の移動や高い所の剪定で、梯子や脚立に上るのが億劫になりましたが、好きですること、何とか頑張っています。

会員消息欄で、皆様の元気な様子を知るのが楽しみです。頑張ってください。

◇ 千葉美知子 (多度津町)

「毎朝窓を空け布団を干して」を、楽しみに退職して7年が過ぎましたが、その思いも何処へやら、婦人会、食生活改善、ゴミ減量

化等々と、地域活動に引っぱり出され、忙しさを楽しんでおります。

年毎に物忘れを感じるこの頃ですが、「もう」でなく「まだ」の言葉に気を若くして、ハイキング、卓球の同好会にも足を運んでおります。

家族から「自家製の野菜が食べたい」と言われながら、外出の多い昨今です。皆さん、「栄養・運動・休養」で健康に!

◇ 中島 和子 (鳴門市)

退職して9年が過ぎたのに、テレホンカードの注文を受けることしばしば、有り難いことです。今は茶道教室と、婦人会の活花の指導と、楽しい毎日です。

主人と畑仕事の暇を見つけてパチンコへ。成績は勝ったり負けたりです。趣味の書道は現代書を勉強中。展覧会の出品に追われ大変です。今のところ健康ですが、太り過ぎで、10kgは痩せたいと悩んでおります。

◇ 服部 章子 (高知市)

還暦を過ぎると、月日は逃げるように去って行きます。私は今、天気の良い日には山の畑で野菜を作り、雨天には放送大学の勉強に励んでいます。地球のこと、歴史のことなど学んでいますと面白くて、いい楽しみを見つけたものだと思っております。

また、NTT時代の友人と、お喋りを楽しんだりもしています。

◇ 日向 義正 (牟礼町)

平成3年、NTT富山支店を退職。平成5年、家内もNTT富山支店を退職したので、娘の嫁ぎ先の高松へ移転。早いもので5年に

なります。
電友会に入会し、ふるさとを歩く会、テルウェル主催のハイキング、美観、芸術探訪等の行事に参加するなど、多くの仲間もでき、楽しく過ごしています。

近くの農地での無農薬野菜作りに、妻は洋裁、絵葉書、ちぎり絵等の習得、私は盆栽と忙しい日々を過ごしております。幸い二人とも健康であることが何よりと思っています。

◇ 平野 金造 (高知市)

今年5月から、高知県シルバー人材センター連合会に勤めています。労働省では、60歳代前半層の本格的な就業の促進や、中小企業等の労働確保に因るため、平成10年度から「シニアワークプログラム事業」を行っていただきます。概ね55歳から65歳までの方を対象に、技能講習会を開講。例えばワープロ基礎講習等は、皆様のお役に立つ講習会です。各県で事業を行っています。高知県では(0888-8014570)にお問い合わせを。

◇ 福岡 貞允 (高松市)

早いもので、退職して10年目になります。退職後、健康維持のため近くのプールで水泳を始め、週3回程度、泳ぎを楽しんでおります。いつの間にかのめり込んで、日本マスタースズ水泳大会にも出場しております。

また、スポーツ指導員の資格を取得し、香川県水泳協会の競技役員として、水泳競技大会のお手伝いをさせて頂いております。新しい友達も沢山出来ました。

少し土地を借りて、四季の野菜作りを楽しみ、無農薬野菜収穫の喜びも味わっております。

◇ 見越 達 (徳島市)

国内旅行を妻と年に4、5回。その合間に近くの海でチヌ、キス、アジ等を狙い、走りまくっています。また、草花の手入れと草抜きも結構忙しく、昼間はめったにテレビとにらめっこはしません。

2年前、京都で、私より年上の熟女が、一眼レフで紅葉を熱心に撮っているのに刺激され、少し高いが私も購入して、主に自然と花を撮っていますが、なかなか難しい(何と美的感覚とセンスの無いことか)。しかし、懲りない一人として挑戦しています。

◇ 村上 治郷 (松山市)

第二の職場を平成7年12月に退職し、退職後は色々やりたい事もあり、何からしようかと楽しみにしていましたが、在職中より悪かった腰痛が悪化して、退職後、即入院ということになりました。

手術の日程も決まっておりましたが、手術しても回復の見込みがないということで、未回復のまま退院し、現在は、杖を持って歩くのがやっとという状態です。何とか寝たきりにならないよう、気力で頑張っています。

◇ 森本恵美子 (北島町)

退職して10年、この年に生まれた孫が早3年生です。若いつもりでも年を感じます。

現在は、OBサロンで、踊り、琴、ちぎり絵を楽しみながら過ごしています。年一回、作品展や勉強会があり、緊張はしますが、それが励みともなっております。

また、合間に旅行を楽しみ、心と体をリフレッシュさせています。これも健康であればこそと感謝し、日々心豊かに過ごして行きたいと願っている、この頃です。

◇ 山地 貞夫 (高松市)

現在、某クレジット会社に勤務中。NTT在職中、心臓バイパス手術等しましたが、先ずは元気にしています。

NTT時代、昼飯時間に五級程度で碁を打っていました。昨年暮れから某囲碁クラブへ通い始め、今は初段でやっています。来年中に三段到達を目標にして楽しんでるところ。済んだことは早く忘れ、現在を楽しもう心掛けています。諸兄弟のご健康をお祈りします。See Again.

◇ 横山 恒夫 (丸亀市)

退職当日(日5.12.31)、食道破裂症が再発し緊急入院(3ヵ月)の羽目に。丸亀の郊外に転居。自宅前にある他人様の畑の季節野菜の成長を眺め楽しむほか、丸亀城、讃岐富士、金比羅系山を仰ぎての黙禱が日課に。また、時には先輩OBが栽培している「ふれあい農園」に不器用ながら参加も。

昨日(8月5日)は、近隣で開催中の四国98総体・陸上決勝競技を観戦。好記録の続出に堪能した次第。先ずは健康第一に、日就月将、細やかな幸を求め歩み進みたい。

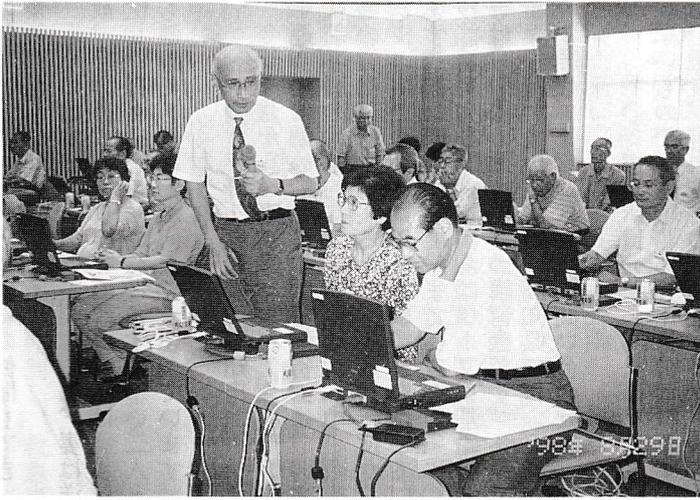
◇ 好原 四郎 (佐川町)

退職したら好きな川漁と考えて、早くも12年。当時は鮎、鰻、アメゴ等が沢山釣れました。近年、河川の汚れ、天然遡上の減少と楽しみも少なくなり、現在は、休耕田を借りて菜園作りの毎日です。古稀に入り、若かりし頃?のような無茶な連投は疲れますので、のんびりです。(以下、7ページへ続く)

テルウェルだより

初心者パソコン教室を開催(愛媛)

NTT・OBの皆様が、これからのマルチメディア時代に豊かな生きがいのある生活をするために役立てて頂くとうと、8月29日・30日と9月5日・6日の2回に分けて、NTT研修センタにおいて「パソコン教室」を開催しました。



今回、初めての教室には、パソコン技術を習得しようという意欲にあふれた、58名のOBの皆様の参加があり、講師とアシスタント

には、マルチメディアを実用体験しているOB仲間の有技者6名にお願いして、懇切丁寧な体験・実技指導をして頂きました。

研修第1日目は、パソコンの基本操作と文書作成の基礎をマスターすることを目標にして、パソコンの機能概要に始まり、簡単な文書の入力、保存・読み出し、罫線使用と文字の修飾、画像データ処理等を学習しました。

研修第2日目は、エクセルの基礎やインターネットとメール通信をマスターすることを目標にして、エクセルの機能概要、表作成、シート・セルの操作、データの保存・読み出し等を学習した後、インターネットでホームページの検索やパソコン相互でのメール通信を体験して研修を終了しました。

受講生の皆さんは、初めてパソコンを操作する方々がほとんどで、2日間で12時間のハードなカリキュラムに、悪銭苦闘しておられました。研修終了段階でのインターネットで、各企業のホームページへリンクしたり、受講生相互で電子メールのやりとりを体験したことにより、マルチメディアを実体験した喜びの笑顔がみられる等、充実したパソコン研修となりました。

第3回OB余技作品展を開催(徳島)

テルウェル徳島営業所では、昨年に引き続き、本年度も退職者文化活動の一環として、第3回「NTT・OB余技作品展」を開催しました。

今年は会場の都合により、昨年より1ヵ月早くなって、9月18日(金)から22日(月)までの5日間、徳島市東新町一丁目「あわぎんプラザ」が展示場となりました。

最終日の22日は、台風7号が四国に来襲し

たため、見物客が少なかつたものの、5日間を通して、569名ものお客様に、徳島のNTT・OBの日頃の力作を見て頂き、盛況でした。



70名余りのOBの皆様のご協力により、油絵、日本画、水墨画、アートフラワー、カーボックス、写真、書道、竹人形、和紙絵、ちぎり絵、人形、俳句短冊、パッチワーク、工芸作品、手芸品、花クラフト等の作品が会場いっぱい展示され、華やかな雰囲気でした。毎日、ほとんど切れ目なく見物客が展覧会場を訪れて下さいました。

これらの模様は、NTT・OBの豊田三郎

氏がビデオに撮り、NHKに送られたので、9月25日(金)、NHK総合テレビの夕方の徳島地方のニュース番組、「ビデオだより」で放映され、紹介されました。

男の料理教室を開催(愛媛)

9月24日、松山市の愛媛県生活文化センターにおいて、エプロン姿が良く似合う男性、26名のN.T.T・O.Bの皆さんに参加して頂き、男の料理教室を開催しました。



今回は、昨年引き続き、愛媛エプロン

料理教室の講師・石田信枝先生の指導のもと、「いもたきと元気の出る季節の料理」をテーマに、献立、①大洲の芋を使いたいもたき、②ピーマンと牛肉の千切り炒め、③タイ風すね肉のサラダ、④大根とこんにゃくのピーナツ炒め、⑤貝柱炊き込みご飯、の5品目に挑戦しました。

参加者は、4テーブルに分かれて、料理の出来ばえを競い合いながら、テーブル毎に、各メンバーがそれぞれ役割を分担し、手際よく調理して、「Aさんが言われるには・・・味良し・・・姿よし・・・」の献立、5品目の料理が出来上がりました。

調理実習後には、皆がそろって、見事な包丁さばきや味付け談義をしながら、自分たちで作った料理を「美味しい、美味しい」と自慢して試食。楽しい一日となりました。

第2回園芸教室を開催(香川)

テルウェル香川営業所では、退職者文化活動として、8月20日(木)、サンイレブン高松において、恒例の本年度第2回目の園芸教室を、参加者約60名を集めて開催しました。

今回の教室では、手軽に作れるプランター菜園として「20日大根」「しゅんぎく」「さやえんどう」「ニラ」などについての栽培方法等のほか、秋の花を楽しむための花壇の夏バテ対策として「サルビア」「インパチェンス」「ペチニア」「ペコニア」などについて実技を取り入れた講演であったため、参加者は熱心にメモをとるなど、講師のジョークを混えた指導に聞き入りました。

なお、本年度の園芸教室については、11月と、来年2月にも予定しており、多数のO.Bの参加を期待しているとあります。



ボランティアN.T.T土佐清水O.B会発足

9月11日、ボランティア土佐清水O.B会が発足しました。高知、安芸、須崎、中村、宿毛に次ぐ、高知県では6番目、四国では15番目のグループの誕生です。会長・事務局長は形岡功氏、副会長は形岡直範氏です。

地域O.B、30余人を数える状況下で、22人の賛同を得、午前10時から16人が「あしずり食堂」に集まり、「できる事から無理をしないで長続きする会」にしようと決議し、昼食を共にして散会しました。

会の発足に当たり、ご協力頂いたボランティア高知O.B会の近沢会長にお礼を申し上げますとともに、準備段階で故人となられた、岡野寿夫氏のご冥福をお祈り致します。

サークルだより

えひめ歩こう会

江崎 尚樹(松山市)

昭和55年1月5日発足。以来、18年を経過して、現在の会員は1331名です。

「歩くことにより、健康な身体を保持するとともに、語らいの機会を作り、会員相互の親睦を図る」ことを目的としておりますが、歩く機会よりも小旅行の方が優先しているくらいもあってか、「やや目的から逸脱している」とのご意見を伺うこともあります。

それはさておき、あちこちの小旅行で観光を楽しんでおります。

昨年は4月に、桜の名所「吉野山と花の長谷寺・奈良公園」を50名で旅行。6月に市内総合公園と考古館を37名で散策。9月に博多の「海の中道と天草五橋」を44名で観光。11月には、「出雲大社・皆生温泉・一畑葉師」の旅を32名で楽しみました。

また、1月の総会の日には、例年、市民会館前から東雲神社と護国神社を参拝するコースを歩くことにしていますが、今年は雨のため中止しました。

今年の4月には、興居島の新四国八十八ヶ所巡りを、健脚の方は10ヶコース、並の方は5ヶコースと2班に分かれて実施しました。

参加者は60名。当日は「お接待の日」とあって、お参り先でお接待を受けるやら、テルウエル関係の方から伊予柑を頂く等、天気も良く、気分的にも快適な散策でした。

同じ4月に、45名で、開通直後の明石海峡大橋を眺めて感嘆し、琵琶湖周遊、比叡山延暦寺・京都二条城・からくり屋敷等を見物し

ました。生憎雨に見舞われ、折角の比叡山の桜花も見栄えがしなくて残念でした。



今年度2回目の小旅行は、10月初旬に吉備路と湯の郷温泉、それに来年のNHK大河ドラマ「忠臣蔵」の先取りの旅として、播州赤穂巡りを予定しています。

旅行好きの方、ご入会頂き、健脚もさることながら、健康下での旅行を楽しまれては如何でしょう。皆様のご入会をお待ちしています。

軟式庭球クラブ

藤野 靖義(松山市)

平成10年度の春季大会を、7月18日、堀之内テニスコートで、会員12名が参加して開催しました。

大会当日は、梅雨明けで、日中は30度を超える暑さとなりました。(当初は5月中旬に計画しましたが、雨のため順延)

試合は、リーグ戦とトーナメント戦を交えて行い、暑さにめげることなく(超壮年にはこたえました)熱戦を展開し、正午過ぎに無事日程を終了しました。

大会終了後、某所において反省会を行い、冷たいビールでのどの渇きをいやし、散会しました。



俳句・川柳

俳句 (香川)

秋の句を詠む背をノック子猿かな 赤井 唯好

萩の道散策の歩を延ばしおり 池田 治豊

ママ一匙お目目溶け合うアイスクリーム 河端 豊

炎天やまだ縁切れぬ処方箋 竹内 正

突堤に釣人あまた秋の海 谷條 昭平

一株の芒を植えて移り住む 土居松太郎

さざなみの畦に消さるゝ植田かな 中山 忠彦

秋風や生家をこわす日の近く 東原シズ子

西日中舷梯上がり征きしかな 三井 昭

向日葵や鴨居にとどく子の背丈 村尾 和子

泳ぎ子の荷に鳴る携帯電話かな 横田 浩

川柳 (香川)

趣味ひとつ抱いて埋もれ火を燃やす 香西ツル子

親より先に逝くなと庭の草むしる 森安 文字

敬 弔

次の方が逝去されました。謹んでご冥福をお祈り致します。

氏名	逝去年月日	葬儀	葬儀の地
山本房太郎様	10・7・16	99	徳島市
宮崎 清孝様	10・8・6	68	松山市
四宮富美江様	10・8・21	71	徳島市
谷 一郎様	10・8・21	59	松山市
松本 文夫様	10・8・25	65	高知市
真鍋 定男様	10・8・29	80	詫間町
伊野部重実様	10・8・30	91	高知市
長田 昌光様	10・9・2	71	松山市
福田 達男様	10・9・14	75	宇和島市
田岡 治雄様	10・9・24	72	徳島市

▼テルウェル四国支部では、次の番号により、訃報等をお知らせしています。

012014712941

▼会員の訃報は、各県支部の事務局へ、急ぎ連絡願います。また、お気付きの方は、ご協力下さいませよう、お願い致します。

- 物故者叙位叙勲
- 正七位勲六等瑞宝章 藤田 計様
- 正七位勲六等瑞宝章 小林 四郎様
- 正五位 山本房太郎様



表紙の言葉

コスモス 丹下 友文 (松山市)
コスモスはメキシコ原産で、ヨーロッパを経て日本に渡来したといわれている。
淡いピンク色、白色、深紅色、黄色等、可憐で清潔感が溢れているこの花は、日本人に愛され、美しいことに由来して「秋桜」と呼ばれている。

編集後記

愛媛の水瓶がピンチでしたので、いい雨と
思っておりましたが、その雨が、高知市や南
国市では豪雨となり、水害を招く結果となり
ました。被災地の皆様には、心からお見舞い
を申し上げます。(愛原)

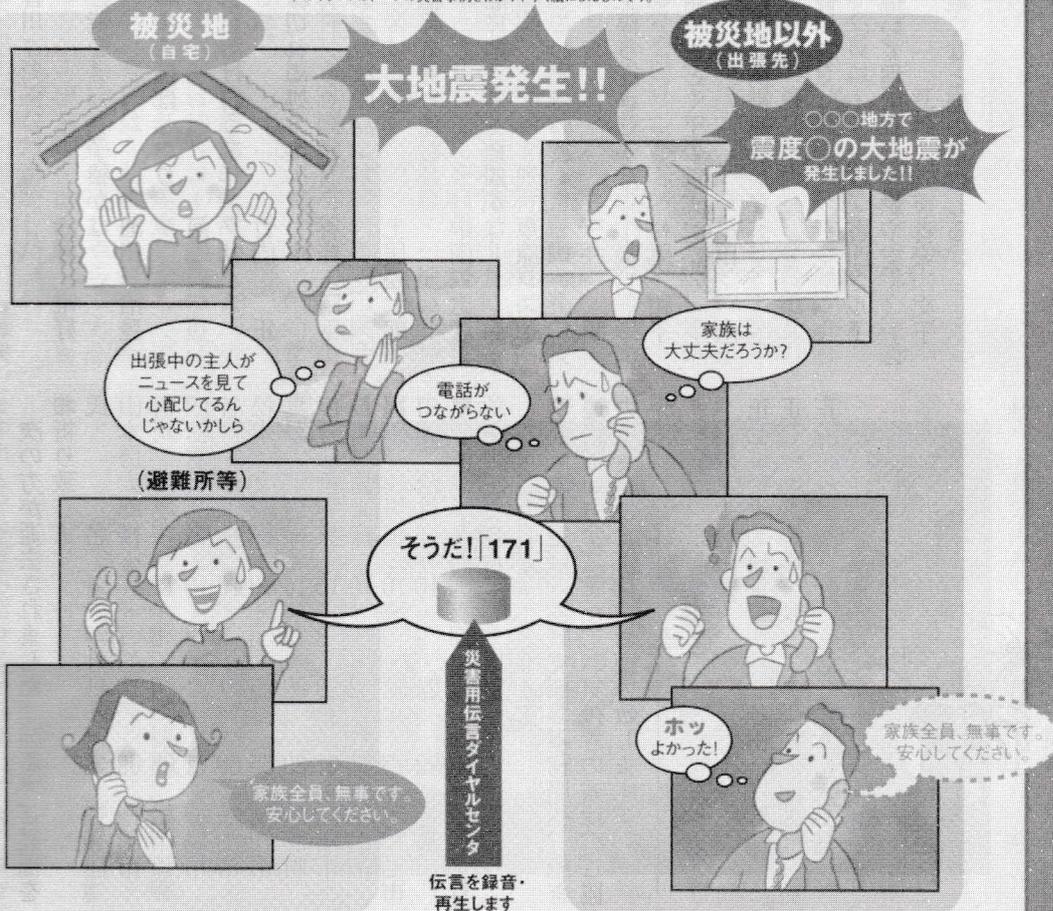
原稿募集

- 一 近況短信 (二百時程度)
 - 二 短歌、俳句、川柳
 - 三 サークルの活動状況等 (写真可)
- 〆切は一月末日です。皆様からの原稿を、お待ちしております。

四国電友会会報 第一〇四号
発行 平成一〇年一〇月 一日
編集 電友会四国地方本部
松山市一番町四一三
NTT四国支社内
電話 〇八九一九三六一二〇二三
印刷 NTT四国電話帳株式会社

こんな時の、災害用伝言ダイヤル「171」

下のイラストは、一つの災害事例をわかりやすく絵にしたものです。



伝言を録音・再生します

伝言蓄積数には限りがあります(最大10件)。緊急の方以外のご利用はお控えください。
一般加入電話(ダイヤル式・プッシュ式)、公衆電話、携帯電話・PHS(共に一部事業者を除く)からご利用になれます。
ご利用にあたっては、発信場所から被災地までの通話料がかかります。

ご利用方法

「171」をダイヤルし、利用ガイダンスにしたがって伝言の録音・再生を行ってください。
提供開始や録音件数等、提供条件についてはNTTで決定し、テレビ・ラジオ等でお知らせします。

伝言の録音方法

171にダイヤルする

▼ガイダンスが流れます

録音の場合 1

▼ガイダンスが流れます

(X)(X)(X)X(X)(X)-X(X)(X)(X)

被災地内の方も、被災地以外の方も被災地の方の電話番号を市外局番からダイヤルしてください。

伝言の再生方法

171にダイヤルする

▼ガイダンスが流れます

再生の場合 2

▼ガイダンスが流れます

(X)(X)(X)X(X)(X)-X(X)(X)(X)

※録音された伝言は被災地の方の電話番号を知っているすべての方が聞くことができます。
聞かれないメッセージを録音する場合は、あらかじめ暗証番号を決めておく必要があります。設定方法等はNTTまでお問い合わせください。

※点線内のご利用方法は、切り取って携帯用としてご利用ください。

お問い合わせは、局番なしの「116番」またはお近くのNTT支店・営業所の窓口へどうぞ。